

事業所名: グループホーム こすも

作成日: 平成 29 年 10 月 31 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	○チームでつくる介護計画とモニタリング アセスメントの強化を行い、ご利用者の全体像を把握すると共に、ご本人の生活上の「困りごと」としてお世話型プラン(介護計画)から『自立支援型プラン』の意識を図る。	企業理念・事業所理念を再認識し、認知症ケアの方向性をチームとして周知・実践できるようにする。	・アセスメント用紙の変更および勉強会の実施。 ・個別的な自立支援プラン項目の実践チェック表を用いて各個人の目標、効果を全スタッフが意識して関わり毎日の申し送りを活用して状況や情報を共有する。	6 ヶ月
2	2	○事業所と地域のつきあい 地域住民とご利用者が日常的に交流できるようになる。	ホーム行事への地域参加促しと、利用者の地域活動参加は継続して行う。 地域住民向けの出前講座(出張先生)やホーム収穫の野菜・ご利用者の作品等の販売。	・園芸担当をスタッフとご利用者で配置し役割りを設け、畑作業にこだわらずにプランターで野菜づくりを開始する。収穫した野菜は行事等の場で紹介・配布を行う。 ・作品づくりや出前講座については、地域回覧版の活用依頼や他事業所との交流を積極的に行う。	12 ヶ月
3	7	○虐待の防止の徹底 虐待行為は認めていないが、全員が『不適切行為』の再認識を図り、コミュニケーションスキル・接遇等の基本的意識・技術の向上に繋げる。	接遇・対応(ケア)について、振り返りの機会を図り『何が不適切行為なのか?』無意識な言動の『意識化』が出来る。	・接遇、ケアに関する自己点検シートを作成し、定期的(1回/3ヶ月)に自分を振り返る機会を設定する。 ・接遇、認知症ケアの勉強会を年2回実施。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月